



迎春（校舎玄関）

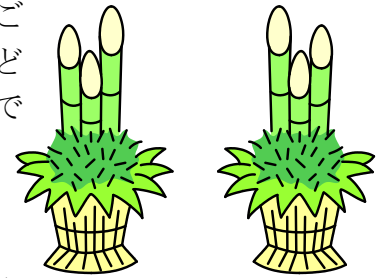
麻里布小だより 1月

<http://www.edu.citv.iwakuni.vamaguchi.jp/site/ma>

令和4年1月号 大野元良

新年を迎えて！

令和4年の幕開けを迎えました。旧年中は、本校教育活動の推進にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。新しい年も、「子どもたちの成長を一義」に、教職員一同が全力で取り組んでまいり所存です。同時に、年末から新型コロナウイルスの感染拡大が顕著であることを鑑みて、感染予防については、危機管理意識を高く維持する必要性を感じているところです。



保護者や地域の皆様におかれましては、新しい年も、引き続きのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

こうした中、1月6日現在の情報となりますが、山口県は、岩国市と和木町に「まん延防止等重点措置」の適用を政府に要望する方針を固めたとの報道がありました。1月中の適用を想定していることから、この間は特に警戒レベルを上げた教育活動が求められます。

学校生活においては、マスクの着用・手洗いや換気の徹底、学習形態を工夫した授業実践等に取り組めます。ご家庭におかれましても、健康観察、ハンカチ・ティッシュペーパーやマスクの準備とともに、人が密集する場所への外出を控えることや、十分な睡眠やバランスのとれた食事の摂取により免疫力を高めることなどについて、引き続きご配慮いただきますようお願いいたします。

「雨過天晴（うかてんせい）」・・・「with コロナ」の取組を継続しながら、コロナ禍の状況が改善して、子どもたちに、のびのびと思い切りよく教育活動に取り組ませることが出来る日の到来を心から願うばかりです。

目標をもつことを大切に

さて、年頭において様々な状況はあっても、誰もが気持ちを新たに、期待に胸を膨らませてお正月を過ごされたことでしょう。

新春恒例の駅伝の中継を見ながら、声援を送られたご家庭も多いのでは……。優勝したチームが注目されるのは当然であり、努力と栄誉を讃えるばかりです。しかし、それ以外にも選手として参加できたこと、出場はかなわなかったけれどもチームを支えたこと、大会を円滑に運営したこと、大会の様子を報道したことなど、多くの人々の努力があつての駅伝だったと思います。同時に、その全ての関係者が、目的と目標をもって取り組まれた場面だと考えます。

身近な話題の中にも、目的と目標をもつことの大切さを学ぶ場面はたくさんあります。子どもたちには今年の目標を掲げ、その具現化に向けた営みの大切さを体得させたいものです。

まずは3学期。学年のまとめに向けた学習活動や、学校生活にしっかりと取り組ませていきたいと思ひます。「できるようになったことは何か」「これから頑張ることは何か」、その結果どんな自分でありたいか」などについて問いかけ、目標を明確にした教育活動を推進してまいります。

そして、次の学年への進級や中学校への進学への備えとなる充実した年度末となるよう努めていきたいと思ひています。

～令和4年度（令和5年1月）に 開校150周年を迎えます～

歴史をたどりますと、明治5年8月に「学制」（教育法令）が発せられ、その後多くの地域で小学校が設立されました。現在の小学校教育の礎となる法整備であったと捉えることができます。

こうした中、本校は明治6年1月に「今津小学校」として誕生し、明治44年には、麻里布尋常高等小学校となりました。

そして、昭和22年の「新学制」により、麻里布小学校と改称しました。

昭和54年には、1,991人の在籍があり、これまでの卒業生は16,489人を数えます。

輝かしい歴史と伝統を誇る本校は、来年度開校150周年を迎えます。

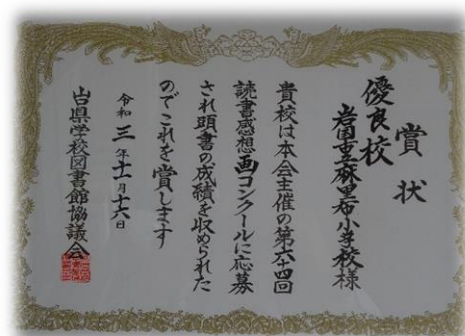
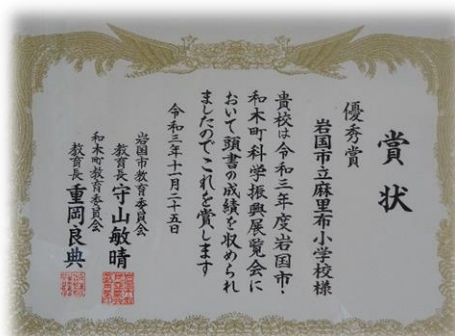
この大きな節目となる年に、何か記憶に残る事業に取り組めないだろうかとの思いから、学校運営協議会委員の皆様（麻里布中学校学校運営協議会からも2名のご参加をいただいています）を中心に、「麻里布小学校開校150周年記念事業委員会」が設立されました。今後、事業の具体を検討していただきますので、追ってご紹介いたします。



祝 多くの学校賞を受賞しました！

子どもたちの頑張りが認められ、多くの学校賞を受賞しました。

左から、令和3年度岩国市・和木町科学振興展覧会における優秀賞の賞状です。理科や科学への興味をもち、研究や工作への取組が認められたものです。



右は、山口県学校図書館協議会主催の、読書感想画コンクールにおける優良賞の賞状です。読書に親しみ、感じたことを絵で表現した作品が評価されました。受賞を励みに、理科学や読書活動への取組をさらに充実させたいと思います。

また、花壇の充実が認められ、岩国市の花いっぱい運動においても、優良賞をいただきました。

～体力向上に向けて～

子どもたちの体力の状況を把握するために、50メートル走や立ち幅とび、ソフトボール投げや反復横とびなどの体力状況調査を行っています。結果に個人差はありますが、全体的に体力向上への取組をさらに充実させる必要性を感じています。その一つとして、自由に跳んだりはねたりできる場所として、運動場に「ラダー」「ケンパ」を常設しました。

楽しみながら、しっかりと運動に親しんでくれることを期待しています。

